

里山歳時記 稲刈り

- 開催日 2019年9月21日（土）
- 会場 国際自然大学校 日野春校（山梨県北杜市）
- ディレクター名 小林 和人（こぼりん）

■キャンプのねらい

●稲刈り体験を通じて、作物を作る大変さ、収穫の喜び、食べ物の大切さを伝える。

■同行スタッフ（キャンプネーム）

こぼりん、ほっそー、ワッシー、きのこ、れー
まいまい、なっちゃん

■活動内容

<午前>
集合
稲刈り
昼食

<午後>
昔の脱穀体験
ふりかえり



親子と一緒に稲刈り。夢中で稲を刈っていました。



稲を束ねるのは大変だったけれど、頑張りました。



雨天の中ですが、みなさんががんばって稲刈りをしてくれました。



日野春の新鮮な野菜と自家製味噌で作った味噌汁は大好評。



昔ながらの脱穀体験。初めて見る道具に興味津々でした。



脱穀したもみを重さで判別することが出来る「とうみ」も体験。

■キャンプのエピソード

感動した。

今年の5月に開催した田植えに来てくれたA子さん家族。稲刈りをとても楽しみにしていたそうで、参加してくれました。稲刈りが始まると、わき目も振らず熱心に稲を刈っている姿が印象的でした。午後の脱穀体験にも興味津々で率先して取り組んでいました。最後の振り返りの時間、彼女が「こんなに大変なことを昔の人はやっているのを知れて、今日、実際に体験できて感動した。」と話してくれました。普段食べているお米がどうやって作られているのかを知り、実際に体験することで、大切に食べなければいけないと感じてくれた様子でした。

去年日野春でもらった稲穂で

昨年の稲刈りに来てくれたB君家族。今年も稲刈りに参加してくれました。日野春に来て私に「こぼりんにお土産もって来たよ！」と満面の笑みで一本の稲穂をくれました。B君は「去年もらった稲穂を家に帰って、植えたんだ！」と嬉しそうに教えてくれました。しっかりと育った稲穂を見て私も嬉しくなりました。去年、お米が出来る過程を知り、それを実際に育てて喜びを感じてくれていたB君を見て、農業体験の大切さをこれからも伝えていかなくてははいけないと強く思えた出来事でした。